

# 令和2年（2020年）台風10号

2020.09.07

## 気象状況（気象庁等）

- ・大型で強い台風10号は、7日朝には対馬海峡を進んで朝鮮半島南東部に上陸した。次第に日本から離れている。
  - ・これまでの雨で、地盤が緩んでいる所があり、土砂災害にしばらく警戒が必要
  - ・西日本や東日本では台風の影響で暖かく湿った空気が流れ込み8日にかけて太平洋側を中心に大雨となるおそれ
- ⇒土砂災害や低い土地の浸水、川の氾濫に警戒
- ・九州北部は沿岸海上を中心に夕方にかけて吹き返しの暴風が吹くおそれ
- ※9月8日昼までの24時間に降る雨の量は多いところで、東海で200ミリ、関東甲信で180ミリ、四国、近畿で100ミリの予想、さらに、9月9日昼までの24時間に降る雨の量は、東海と近畿で50から100ミリの予想。
- ※9月7日夜にかけて、海上を中心に風が強い状態も続き、最大風速は、九州北部、近畿、中国地方、四国で25メートル、最大瞬間風速はいずれも35メートルの予想

## 各地の降雨量

### 1時間雨量

- ・88.0ミリ（長崎県五島市・福江）

### 24時間雨量

- ・507.0ミリ（宮崎県美郷町南郷、6日22時まで）
- ※平年9月の1か月の雨量は、438.6ミリ
- ・464.5ミリ（宮崎県えびの高原）
  - ・413.0ミリ（宮崎県椎葉村）
  - ・370.0ミリ（宮崎県諸塚村）
  - ・328.5ミリ（宮崎県西米良村）
  - ・235.5ミリ（埼玉県秩父市浦山、6日9時まで）
  - ・235.0ミリ（東京都西多摩郡檜原村小沢、6日9時まで）
  - ・231.0ミリ（神奈川県相模原市緑区相模湖、6日9時まで）

### 48時間雨量



## 土砂災害対策

下記マップなどを参考に、警戒や早めの避難を。

- 『大雨警報（土砂災害）の危険度分布』（気象庁）

## 家の備え

### 【暴風対策】

#### <窓ガラスの対策>

- 『「窓ガラスに養生テープ」の台風対策は効果ある？正しい方法をYKK APに聞いた』（2019/10/11 FNN）

### 【停電対策】

#### <熱中症対策>

- 『停電時の熱中症予防、効果的に熱を冷ますツボは？』（2020/09/07 ウェザーニュース）

#### <体験談>

- 『2019年の台風15号停電体験まとめ（備えといてよかったものとか反省点とか）』（2019/09/15 中嶋友理）

## 避難状況

### 避難所開設状況

※2020年9月6日10時現在、都道府県別の避難所数、避難者数

長崎県：26か所、256人

熊本県：61か所、565人

宮崎県：97か所、205人

鹿児島県：635か所、5,760人

沖縄県：108か所、550人

合計：927か所、7,336人

※『令和2年台風第10号に係る被害状況等について』（2020/09/06 10:00 内閣府情報）

## 報道

- 『宮崎・椎葉村で4人不明 台風10号で九州の停電47万戸、18万人が避難』（2020/09/07 西日本新聞）

西日本新聞のまとめでは、実際に少なくとも9万4千世帯、18万4千人が避難した

## 広域避難

### 市町村外避難

#### <熊本県人吉市>

避難先：熊本県人吉市⇒熊本県熊本市（熊本県立劇場、350人分のスペース、毛布、食料等を準備）

目的：避難所の密状態を避け、新型コロナウイルス感染を恐れる在宅避難者の安全を図るため

人数：32人（バス2台）

経緯：5日に球磨川氾濫の恐れがあると国交省の会見。人吉市と熊本県は5日夜に広域避難の実施を決定。市は6日午前7時から防災無線や広報車で避難を呼び掛けた。

その他：高齢者など避難が難しい方が市内の避難所に避難できるように、あえて広域避難を選択した方もいた（テレビインタビュー）

・『人吉市が広域避難実施 バスで熊本市へ』（2020/09/ 西日本新聞）

### 島外避難

※両村とも、台風による島外避難は初めて

#### <鹿児島県十島村>

避難先：十島村⇒鹿児島市

経緯：猛烈な暴風雨に被害の恐れがあることや、新型コロナウイルス感染防止のため、島内の避難所では「3密」回避は難しいと判断。有人7島に人口688人（2020年3月現在）のところ、要配慮者を中心に約200人を島外避難させることとなった。県に自衛隊派遣を要請。陸上自衛隊と空自の大型ヘリ計5機、海自鹿屋航空基地の救難ヘリ2機の計7機を各島に派遣。自衛隊のヘリコプター（約170人）や村営フェリーみしま（50人）で鹿児島市へ順次避難。

#### <鹿児島県三島村>

避難先：三島村⇒鹿児島市

経緯：猛烈な暴風雨に被害の恐れがあることや、新型コロナウイルス感染防止のため、島内の避難所では「3密」回避は難しいと判断。9月4日、避難を希望する約170人の住民を村営の船で、鹿児島港に向かった（うち、約50人が集団避難希望者）。村が確保したホテルや親せき宅等へ避難。

人口：竹島、硫黄島、黒島の3島に、388人（2020年9月1日現在）

※『台風10号警戒 十島・三島村が初の島外避難 自衛隊ヘリや村営船で400人搬送』（2020/09/05 南日本新聞）

## その他

ホテル等へも多数が避難した。また、指定避難所で相次いで満員となった。停電や窓ガラスが割れるなどの被害の出た避難所もあった。

## 被害状況

9月7日12時30分現在、総務省消防庁のまとめで、人的被害38名、住家被害20棟です。

※『令和2年台風第10号による被害及び消防機関等の対応状況（第5報）』（2020/09/07 総務省消防庁）

### 人的被害

合計38名（重傷5名、軽傷33名）

※その他、安否不明4名（宮崎県椎葉村）

### 報道

共同通信の7日正午のまとめでは、全国で52人が重軽傷を負った。

・『台風でけが、52人に』（2020/09/07 12:09 共同通信）

### 住家被害

合計20棟（全壊1棟、一部破損16棟、床下浸水3棟）

### 土砂災害

・宮崎県椎葉村下福良で土砂崩れが発生。4人が安否不明、1人が軽傷。

※椎葉村消防団、地元建設業者、警察により対応中、日向市消防本部から応援出動予定（総務省消防庁）

### 椎葉村情報

・人口：1,096世帯、2,518人（男性1,271人、女性1,247人）（令和2年8月1日現在）

・高齢化率：41.3%（2015年）

※椎葉村公式サイト

### 報道

『宮崎・椎葉村で4人不明 台風10号で九州の停電47万戸、18万人が避難』（2020/9/7 12:43 西日本新聞）

宮崎県などによると、土砂災害は椎葉村下福良で発生。建設会社の事務所や同じ敷地内にある住宅などが押し流された。住宅などには当時5人がおり、このうち70代男性社長は自力で逃れたがけがをした。社長の妻の60代女性と長男の30代男性、20代の男性従業員2人の計4人と連絡が取れなくなっている。警察や消防団が捜索している

## ライフライン

### 停電

#### <九州>

※2020年9月7日15時現在

停電軒数：約253,530軒（停電率3%）

—福岡県：約590軒、0.1%

—佐賀県：約9,850軒、1.9%

—長崎県：約86,300軒、9.5%

—熊本県：約8,280軒、0.7%

—大分県：約5,340軒、0.7%

—宮崎県：約8,400軒、1.1%

—鹿児島県：約134,760軒、11.6%

- ・状況確認と復旧作業を進めているものの、復旧の見通しはまだ立っていない（九州電力）
- ・切れた電線には絶対近づかないように呼びかけている
- ・『台風などの非常災害による停電情報』（九州電力送配電）

## 河川の状況

### 氾濫危険水位超の河川

なし

[Tweet](#)[Share](#)[Hatena](#)[RSS](#)